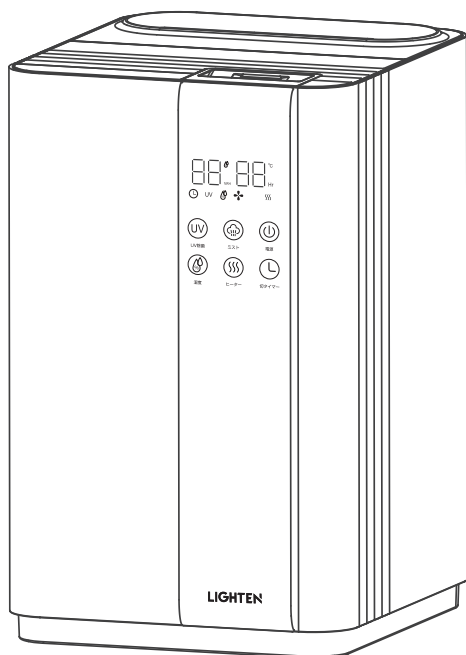


取扱説明書

超音波＋加熱式ハイブリッド加湿器

LIGHTEN

品番:XR-RE01



もくじ

安全上のご注意	1~4
各部の名称	5~6
仕様	7
設置方法	8~9
ご使用方法	10~13
お手入れ方法と保管	14~15
故障かな?と思ったら	16
保証書	17

保証書付

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- 本商品を快適に、また安全にお使いいただくために、本書を良くお読みになり、正しくお使いください。
- また、本書は一度お読みになった後も、すぐ取り出せる場所に保管し、商品について不明な点があった場合は読み返してください。
- 本書は保証書を兼ねております。
- 保証書部分は本書から切り離さず、必ず本書と一緒に保管してください。
- この製品は家庭用です。業務用として使用しないでください。
- 日本国内専用です。(FOR USE IN JAPAN ONLY)
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。
- 外観および仕様、本書の内容については改良のため予告なく変更することがあります。当社では常に製品の品質改良を行っており、お客様のお買い上げ時期によっては、同一製品の中にも多少差が生じる場合もありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。
- お客様の不注意による破損並びにけがに対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 取扱説明書のガイドライン、指示が守られない場合は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 故障していたり、故障と思われる場合は、ご使用にならないでください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のある内容



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつく内容

図記号の説明



禁止

禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意・指示

指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告

警告を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



分解禁止

- 分解・修理・改造をしないこと

→本品を改造すると、火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしないこと

→電源コードが破損し火災・感電の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



注意

- 異常(異音・異臭・焦げ臭い・動かない・ビリビリと電気を感じる・コードを動かすと通電したりしなかったりするなど)があるときには、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止すること

→異常があるまま使い続けると、発煙や火災、感電、けがの原因になります。

※お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差込がゆるいときは使わないこと

→傷んだまま使用すると感電や故障、発熱や発火で火災の原因になります。



濡れ手禁止

- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないこと

→感電・けがの原因になります。



禁止

- 犬やネコなどペットのためには使用しないこと

→ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。



ほこりをとる

- 電源プラグの金属部品の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布で拭き取ること

→火災の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしないこと
- 水回り、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しないこと
→ ショート・感電・火災および故障の原因となります。



禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、熱くなったり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと
→ 感電やショート、発火のおそれがあります。



禁止

- 本商品のお手入れは、台所用中性洗剤以外は使用しないこと
→ 水タンク内部に洗剤が残り、有毒ガスが発生したり、故障の原因になります。



禁止

- 交流 100 V 以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使い方はしないこと
→ 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火や火災の原因になります。



プラグを抜く

- 使い終わったら、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
→ 長期間差し込んだままにするとホコリなどが蓄積することによって漏電・火災の原因になります。



禁止

- 医療用吸入器ではありません。吹出し口から噴霧されるミストを直接吸引しないこと
→ 健康を害するおそれがあります。本機は水を噴霧・拡散する目的以外では使用しないでください。



禁止

- 乳幼児の手が届く場所やペットの近くで設置・使用をしないこと
→ 本機を倒したり、感電やけがなど思わぬ事故を起こす原因になります。



禁止

- 40℃以上の熱湯や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しないこと
→ 故障、変形、誤動作の原因になります。



禁止

- 本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用しないこと
→ 使用すると、本体の吸気口がふさがり、本体の故障や水漏れの原因になります。



禁止

- 使用中や使用後しばらくはヒーターカバーやヒーターに触れないこと
→ やけどの原因になります。



注意

- 火気や熱源に近づけないでください(収納時を含む)こと
→ 本体の変形によるショート、発火の原因になります。



禁止

- ヒーターカバーをはずしたまま使用しないこと
→ やけどの原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意



高温注意

●作動中および停止直後の本体に不用意に触れないよう注意すること

→作動中および停止直後の本体は、高温になっている場合があります。ミストに長時間触れたり、本体に不用意に触れるとやけどをする場合もありますので、ご注意ください。



禁止

●傾いた場所や棚などの高い場所、不安定な場所には置かないこと

→転倒して水をこぼしたりすると本体の破損、けがの原因となります。



禁止

●湿気が多い場所や火気の近くで使用しないこと

→故障・感電・火災の原因になります。



禁止

●作動中に本体を移動させないこと

→特に首振り運転時に移動すると、火災及び故障やけがの原因になります。



禁止

●本体の近くに携帯電話やパソコンなどを置かないこと

→本体の作動中は、本体周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は本体の近くに置かないでください。水道水に含まれるミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)がミストと共に空気中に放出され、水分が気化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが精密機器、電子機器などの故障の原因になるおそれがありますので、ホコリや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。



禁止

●凍結に注意すること

→凍結のおそれがあるときは、水槽、水タンクの水を捨てる。



禁止

●本体を傾けないこと

→水槽に、水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる恐れがあります。



禁止

●ミストの吹出し口などの開口部をふさがないこと

→正常な動作が妨げられ、破損や動作不良、過熱、故障の原因になります。



禁止

●ミストの吹出し口や本体のすき間などに、ピンや針金などの異物を入れないこと

→感電やけがの原因になります。



禁止

●ご使用中に本体を持ち運ぶときなど、本体を傾けたり、揺らしたりしないこと

→加湿トレー内の水がこぼれると、すべて転倒するおそれがあります。



禁止

●使用中や使用直後は、ヒーターなど熱い部分に触れないこと

●移動やお手入れの場合は、本体が冷めてから行ってください。



必ずする

●定期的に電源プラグのホコリを取る

→ホコリがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災・感電・故障の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください



注意

- 本製品を使用する時、本体の正面と裏面がわずかに熱を放出しますが、これは正常現象です。



必ずする

- 水タンク内の水は、毎日必ず新しい水道水と入れ替えること
- 水タンク内は定期的に清掃して、必ず清潔な状態で使用すること
 - 水タンク内部は少なくとも3～4日のご使用ごとに清掃し、水・器具とも清潔にしてお使いください。お手入れせずにご使用になりますと、水垢やミネラル分などが付着し、性能が低下するおそれがあります。
 - また、雑菌やカビが繁殖するおそれがあり、悪臭を発生したり、健康を害する原因にもなります。まれに体質により、カビや雑菌によりアレルギーなど過敏な反応を招く場合もありますので、十分ご注意ください。



必ずする

- 必ず常温の新しい水道水を使用すること
 - ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用すると、水垢が多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。また、熱湯は変形・誤作動の原因となりますので使用しないでください。



禁止

- パソコンやテレビなどの電子機器や電気製品、家具、楽器、壁にあたる場所では設置しないこと
 - ミストが触れたり、転倒して水をこぼしたりすると、機器の故障や対象の表面を傷める原因になります。



必ずする

- 木製床が湿気による被害を防止するために、本機を直接木製床に置かないこと



必ずする

- 本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上離して設置すること
 - 雑音の原因になる場合があります。



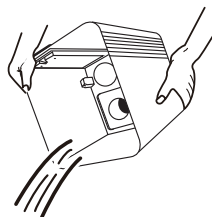
禁止

- 水のないときや本体を倒した状態では絶対に使用しない
 - 故障の原因になります。
 - また、水のない状態で運転をすると振動子の故障の原因になります。

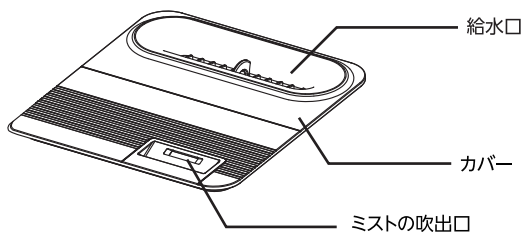
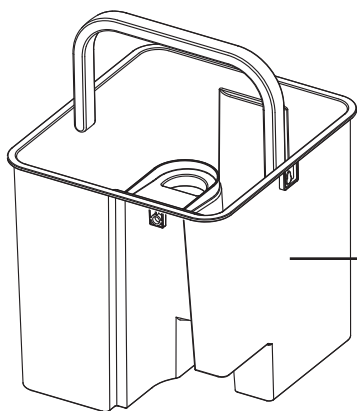


必ずする
排水方向

- 排水するときは、吹出しノズル・水タンクをはずし、排水方向に従って排水すること
 - 排水方向を間違えると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



各部の名称

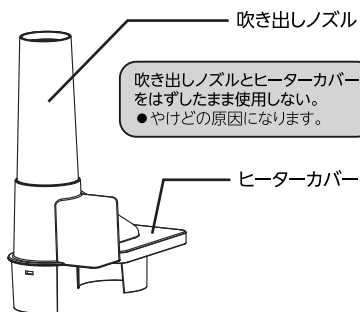


水タンク

給水口

カバー

ミストの吹出口



吹き出しノズル

吹き出しノズルとヒーターカバー
をはずしたまま使用しない。
●やけどの原因になります。

ヒーターカバー

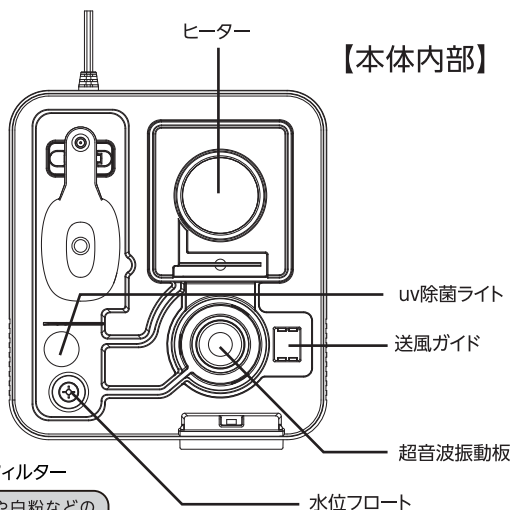
リモコン
受信センサー

クリーンフィルター

※水アカや白粉などの
付着を軽減する効果
があります。
※お手入れなどではず
したときは水槽にセッ
トしてください。

LED表示パネル

操作タッチボタン



【本体内部】

ヒーター

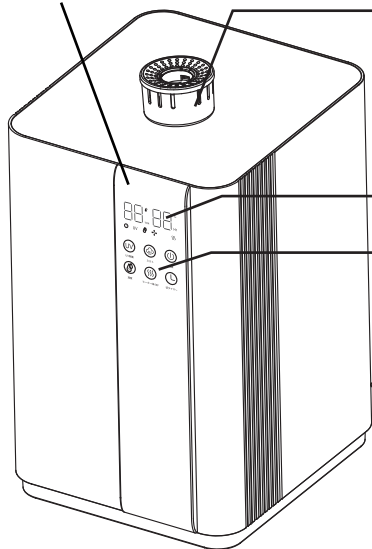
uv除菌ライト

送風ガイド

超音波振動板

水位フロート

⚠
電源コードは束ね
たまま使用しない
●コードが熱くなり、故
障の原因になります。



室内湿度/温度センサー

電源コード

電源プラグ

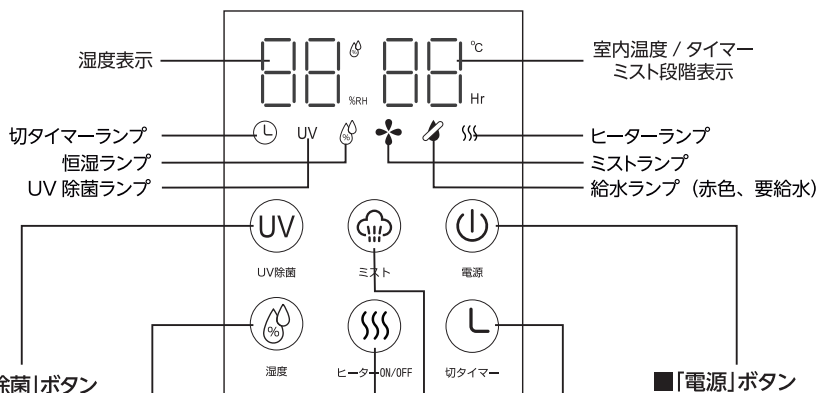
付属品

■リモコン

リモコン用コ
イン型電池1個
(付属お試し用)
※10 ページ「リモ
コン用コイン型電
池の交換」参照



◎本体操作パネル



■「UV除菌」ボタン

UV除菌ボタンをタッチすると除菌機能がオンになり、もう一度押すとオフにします。

■「湿度」ボタン

湿度機能は40%～90%を設定できます。(一回タッチすると5%単位で増加します。)

■「ヒーター」ボタン

ヒーターボタンを押すとヒーターが「ON」になります。もう一度タッチするとヒーターが「OFF」になります。

■「ミスト」ボタン

ミストボタンをタッチする噴霧量は3段階の調節ができます。

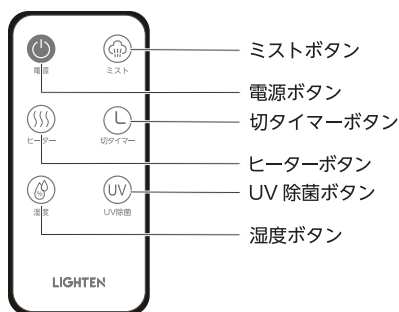
■「電源」ボタン

電源ボタンをタッチすると運転が始まり、再度押すと運転を停止し電源切り。

■「切タイマー」ボタン

温風送風中、切タイマーボタンをタッチすると自動電源オフ時間を設定する事ができます。

■リモコン



⚠ リモコンについて

- 電池の向きに注意してセットしてください。
- リモコンを乳幼児の手の届く場所に置かない。リモコンのコイン型電池を取り出し、誤飲するおそれがあります。

リモコンで作動しない状況の例:

1. 受信センサーに向けられていない。
2. 受信センサーまでの距離が遠すぎます。
3. リモコンの電池が消耗しています。

※ リモコンははめ込み式で分解はできません。

※本体操作パネルとリモコンの詳細説明はP12～13ページ参照してください。

仕様

- 【品名】 超音波 + 加熱式ハイブリット加湿器
- 【品番】 XR-RE01
- 【商品寸法】 W210 mm × D213 mm × H312 mm
- 【定格電源】 AC100V ~ 50/60Hz
- 【定格出力】 230W
- 【本体重量】 約 2.45kg
- 【タンク容量】 5L
- 【電源コード】 約 1.55m
- 【おもな材質】 ABS
- 【騒音値】 ≤35dB (A)
- 【振動周波数】 1.7MHz
- 【タイマー】 1h~12h
- 【付属品】 リモコン、取扱説明書



警告 外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
消し忘れや火災の原因になります。

知っておいていただきたいこと

■加湿器の周辺にできる白粉について

※加湿器から発生するミストが蒸発すると加湿器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が固化化したもので、有害なものではありませんが、加湿器周辺で電気製品や精密機器（パソコン）などを使用されたり、家具などの近くで使用するとミストが蒸発したあと白粉が生じ、電気製品や精密機器の動作不良や故障、家具などを傷める原因になる場合があります。

※白粉が付着した場合は、すぐに水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取ってください。

■超音波振動板周辺の付着物（水アカ）について

※加湿器を使用していると、超音波振動板の周辺に変色した付着物や白い付着物がつくことがあります。

これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が引き寄せられ水アカとなって付着したものです。

水アカは放置すると固着して取れなくなり、故障や水漏れの原因となりますので、必ずこまめに付属の掃除用ブラシ、または水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってお手入れしてください。

■炎色反応について

※燃焼器具のある室内で加湿器をご使用になると、炎の色が赤味をおびてくる場合があります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が反応（炎色反応）したためで異常ではありません。

設置方法

◎設置方法

■正しい置き場所

吹出口から上方 1m 以内にミストをさえぎるものがなく、壁、家具などの変形、シミ防止のため、周囲との距離が十分に確保できる、安定した水平な場所に置いてください。

■注意する置き場所

特に注意していただきたい置き場所です。

■本体の設置場所

●直射日光が当たる場所や暖房機器の近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない

●水タンクを本体にセットしたあと水タンクを何度も持ち上げない

熱で水タンク内の空気が膨張し水タンクから水が押し出されたり、水タンクを何度も持ち上げることにより、必要以上に水が流れ出て水槽内の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。

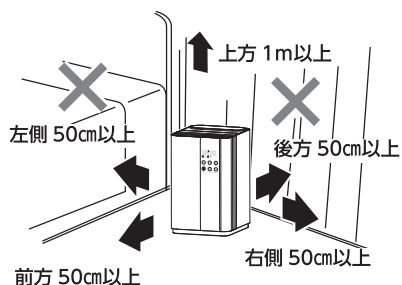
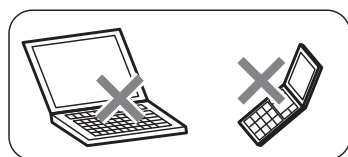
このような場合は、水タンクを取りはずし水槽内の水を一度排水してから運転してください。

●吹出口から出るミストが直接、家具、壁、カーテン、天井や紙類（ふすま・書物・ポスターなど）にあたる所

家具などにシミや変形がでけたり、故障の原因になることがあります。また、白粉が家具などに付着することがあります。（特に高級家具などがある場所でご利用の場合はご注意ください）

●傾いた場所・不安定な場所・電気製品や精密機器（パソコン）などの近く

電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ、感電・故障などの原因になります。また、静電気により、白粉が電気製品や精密機器（パソコン）に付着して故障の原因になります。



■使用する環境に注意

使用する環境により、本体や周辺（床や置台）に水滴が付着したり、ぬれることがあります。

- 室内の温度が低い状態や湿度が高い状態
- 空調機器などの風向き状態
- 室内が無風状態でミストが拡散されない状態
- 狭い場所や閉め切った場所
- 加湿量を「MAX（最大）」で運転しているとき

水滴が付着したり、床などがぬれるときは、下記のように使用してください。

- 加湿量を調節して少なくする
- 空調機器などの風向きをかえる
- 空気中で噴霧が気化するようにテーブルの上など床から離して本体を設置する

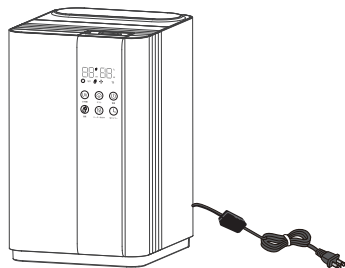
※特に就寝時や近くから離れる場合は注意してください。

●電源

※濡れた手で操作しないでください。感電の原因になることがあります。

1 安定した場所に設置する

本体背面が壁やカーテンなどでふさがれないよう十分な距離をとり、水平で安定した場所に設置してください。



2 電源プラグをコンセントに差し込む

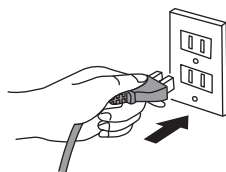
電源プラグをAC100Vの独立したコンセントに差し込んで通電します。

※電源プラグは奥までしっかり差し込んでください。

3 コンセントに電源プラグを確実に差し込みます。

※「ピー」と鳴って通電します。パネルすべてのランプが点灯します。

※リモコンを使用する際は、本体の電波受信部に向けて操作してください。



警告

外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
消し忘れが火災の原因になります。

⚠️ 注意

●本製品の温度表示は目安であり、誤差があります。正確な室内温度を測る場合は専用の温度計をご使用ください。

●市販品の湿度計と加湿器の現在湿度の表示が違う。

本機に搭載している湿度センサーと市販品の湿度計では、感知方式や構造(アナログ式)などの違いにより異なることがあります。(湿度表示は目安です。)また、空気の流れが良い場所と悪い場所では湿度表示が異なる場合があります。

●本製品をリモコンで操作する際、下記のような現象が発生する場合があります。

①他社電化製品のリモコンで、本製品が反応する。

②本製品のリモコンで、他社電化製品が反応する。

これはリモコン(赤外線)の周波数が、他社電化製品のリモコンの周波数と同期してしまうことで発生する現象で、製品機能上は問題はありません。誤作動を避けるため、他社電化製品のリモコンが反応しない範囲(本体の向きと距離)でご使用ください。

●リモコンで操作する場合の操作ボタンは、本体の操作パネルのボタンと同じです。

※12~13ページ参照

●リモコンを使って本体を操作する時は、リモコンの「電波送信部」を本体の「電波受信部」に向けて操作ボタンを押してください。

(通常リモコンは製品の前面から5メートル以内で使用されます。)

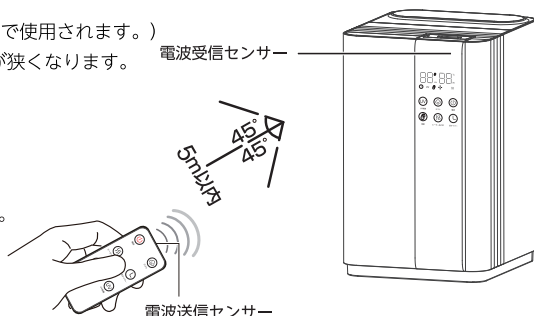
●電池が消耗すると、リモコン操作ができる範囲が狭くなります。

その際は電池を交換してください。

●リモコン送信部にキズをつけないでください。

●次のようなところではリモコン操作ができないことがあります。

- ・本体受信部とリモコンの間に障害物があるとき。
- ・インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているとき。
- ・本体受信部に直射日光などの強い光があたる。

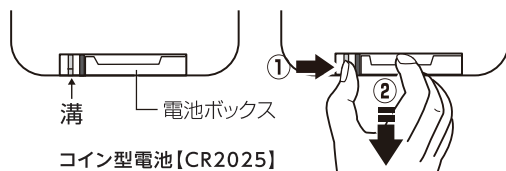


●リモコン用コイン型電池のセットの仕方

●リモコンを使用する前に、リモコン裏の電池ボックスを開けて付属のコイン型電池【CR2025】セットしてください。※付属のコイン型電池はお試用です。早めに新しい電池と交換することをおすすめします。

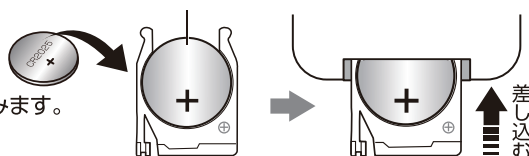
1 リモコン裏の電池ボックスの溝に

- ①爪をかけて内側に押しながら
- ②電池ボックスを引き抜きます。



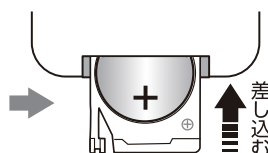
2 引き抜いた電池ボックスに付属のコイン型電池をセットします。

※コイン型電池の【+】面を上にしてセットします。



3 電池ボックスをリモコン下部に差し込みます。

※「カチッ」と音がするまで、確実に電池ボックスを差し込んでください。



長期間ご使用にない場合は、コイン型電池を取り出しておいてください。

→電池が液漏れして故障の原因になります。

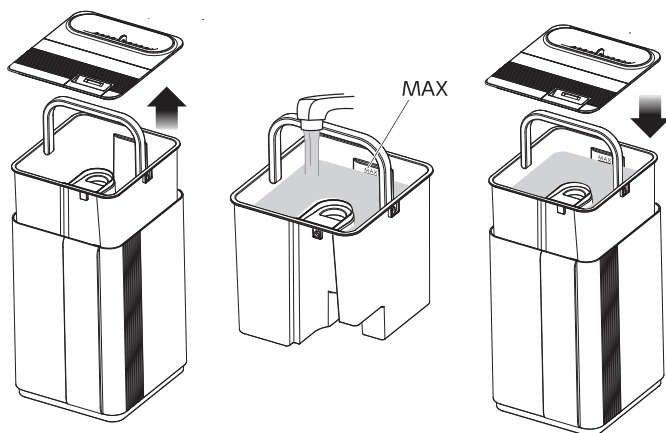
ご使用方法

※「各部の名称」はP.5を参照してください。

●給水する

⚠注意

- 給水する前、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 水タンクの水位がMAXラインを超えないようご注意ください。
- ミスト吹出口から給水することは厳禁です。



●方法 1：①カバーを取り外すしてください。

②水タンクに給水します。水位がMAXラインを超えないようご注意ください。

③カバーを取り付けます。

※運転中、カバーを取り出しは厳禁です。

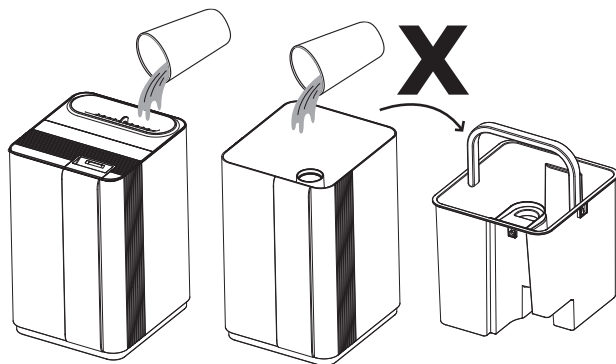
※給水タンクには必ず水道水(飲用)を入れる

・一般に水道水は塩素処理がされており、雑菌が繁殖しにくいからです。

・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水など(かびや雑菌が繁殖する原因になるおそれがあります)。使用される水が井戸水(飲用)に限られるときは、加湿トレー内のお手入れ回数を増やしてください。

⚠注意

- 上からゆっくりと水を注ぐ、水タンクの水位がMAXラインを超えないようご注意ください。
- ミスト吹出口から給水することは厳禁です。
- 感電や製品の損傷を防ぐため、本体に直接水を直接給水することは固く禁じられています。
- 本体は防水性はなく、水がこぼれないようご注意ください。



●方法 2：①給水を途中追加する場合は、本体上部の給水口から水を入れます。

水位がMAXラインを超えないようご注意ください。

ご使用方法

※「各部の名称」はP.5を参照してください。

●電源ボタン



- 電源を入れる時、表示パネルが一回点灯して、待機状態に入ります。
- 電源ボタンを押すと、表示パネルに現在の湿度と温度が表示されて、加湿を始めます。
- もう一度押すと停止します。

※デフォルト：ミスト 1 段階

※加湿器の水位が低いと自動的に 5 秒アラート後電源が切れます。表示灯が赤色になったら、水が足りないサインです。



●ミストボタン



ミストボタンを押すとミスト量は 3 段階の調節ができます。

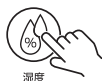
- 1 回タッチすると“02”点灯し、中ミストでの連続加湿します。
- 2 回タッチすると“03”点灯し、高ミストでの連続加湿します。
- 3 回タッチすると“01”点灯し、低ミストでの連続加湿します。

※「02→03→01→02→...」の順で切り替えます。

※デフォルト：ミスト 1 段階



●湿度ボタン



※湿度が一定にたれている。湿度調整をする機能です。

- 湿度ボタンを押すと加湿器は湿度調整機能に入り、パネルは「40%RH」を表示します。
- 湿度調整機能は 40%RH から 90%RH までを設定できます。(一回押すと 5%RH を増加します)
- 環境湿度が設定の湿度に達したら、加湿器は作動を停止します。

※「40%→45%→50%→55%→60%→65%→70%→75%→80%→85%→90%→室内湿度→40%→...」の順で切り替えます。

※デフォルト：40%RH

- 設定中の湿度を確認したい場合：

湿度ボタンを一回タップすると設定された温度が LED 表示部に点滅して、表示されます。操作がないまま 5 秒経過すると周囲温度表示に戻ります。



●UV除菌ボタン



- UV除菌ボタンを押すと除菌機能がオンになり、もう一度押すとオフになります。



ご使用方法

※[各部の名称]はP.5を参照してください。

●切タイマーボタン



- ボタンを1回タッチすると切タイマー設定に入ります。

切タイマーボタンをタッチする度、時間が1時間伸びます。それぞれ12の異なるシャットダウン時間を選択します。設定した時間が経過したら自動で運転を停止します。

※[1H→2H→3H→4H→5H→6H→7H→8H→9H→10H→11H→12H→室内温度→1H→...]の順で動作します。

※水が足りない場合はタイマー機能は使えません。

- 切タイマーの時間を確認したい場合：

切タイマーボタンをタップすると設定中の時間がLED表示部に点滅して、表示されます。操作がないまま5秒経過すると周囲温度表示に戻ります。

- 切タイマーを解除したい場合：

切タイマーボタンをタップして切タイマー設定表示中に時間を室内温度に戻すと切タイマー機能が解除され、運転は連続運転になります。



●ヒーターボタン



- ヒーターボタンを押すとヒーターランプが点灯し、ヒーターが「ON」になります。暖かいミストを吹き出します。

- もう一度押すとヒーターが「OFF」になります。

※暖かいミストでやけどはない程度です。



注意

※ヒーターによってあためられた水が噴霧されますが、暖房器具のようにお部屋をあためるものではありません。

※ご使用になるお部屋の温度や水の温度によって、水があたまるまでに時間がかかる場合があります。

※ヒーターON/OFFを押すと本体内部のヒーターで水が加熱され、ミストがより出やすくなります。また、水の中に含まれる菌繁殖の防止にもなります。(吹出口は熱くなりません。)

※ヒーター使用中は本体があたかくなりますが、故障ではありません。

※ヒーター単独での運転はできません。(加湿運転中のみヒーター使用可能)

●水が少ない場合

- 水が少ない場合：水位が低くなると、機械は自動的に動作停止します。同時に水不足の指示灯が点灯(赤)します。電源を切って水を補充してください。

- (RED): 水位が低いと、本機は自動的にオフになり、選択したすべての機能が同時にオフになり、LEDディスプレイは赤色のアイコンだけを残して停止します。電源をオフにして、水を補充してください。



お手入れ方法



- 本体内部の金属部に触れない。(けが・故障の原因)
- 必ず運転を止め、プラグを本体から抜いて、水槽内部の残り水を指定の排水方法で捨ててからお手入れを行なう。(感電の原因)
- 清掃後は、必ず各部品を元通りにセットする。(やけど・けが・故障の原因)
- お手入れや移動のときは運転を停止し、電源プラグを抜いてヒーターが十分に冷めてからおこないます。水タンクの水は捨て、カビや雑菌の繁殖や異臭防止のため、下記の要領に従ってお手入れをおこないます。

警告



ぬれ手禁止

お手入れの時は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。濡れた手で抜き差ししない。

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体や操作パネルに水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない。

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



注意



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。



禁止

掃除用・整髪料・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

- 変質・破損などによりけが・事故の原因になります。

● お手入れするときは、必ず電源プラグを外し、ヒーターが十分に冷えてから行ってください。

● タンクに残っている水をきれいに捨ててください。

※水を捨てるときは、必ず注ぎ口から捨て、送風口に水が入らないようにしてください。送風口に水が入ると、誤作動および故障の原因となります。

※水をよく切って、よく乾燥させてください。

● ぬるま湯でうすめた中性洗剤を布に含ませ良くしぼって拭いてください。本体上部の超音波振動板をお手入れする場合は、綿棒などを使用してください。本体も同様に、布や綿棒などでお手入れしてください。

● 汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いた後、洗剤分が残らないように、よく絞った布などで水拭きしてください。

※保管の前は、必ずお手入れをしてください。お手入れしたあとよく乾燥させ、直射日光や湿気を避けて保管します。(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)

お手入れ方法

本体内部のクリーニング

水タンク

水洗いはできます。

●水タンクカバーを取り外し、水タンクを取り出して、水タンクの蓋を回して、開けます。残量水を捨てて、常に清潔に保ってください。長期間使用しない場合は、中をよく乾かしてください。

●食器用中性洗剤などで洗い、洗剤成分が残らないようによくすすぎます。

※お手入れ中や排水時などは、送風口から水が本体内部に入り込まないように

注意してください。電気部品がぬれ故障の原因になります。

※クエン酸濃度が高すぎると破損の原因となります。



吹き出しノズル・ヒーターカバー

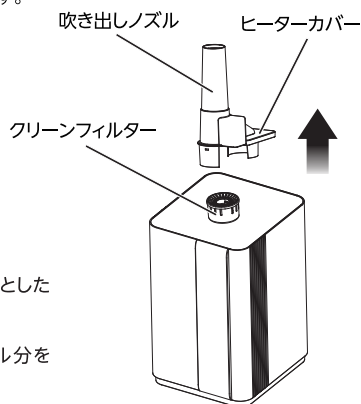
水洗いはできます。

●吹き出しノズル・ヒーターカバーを取り外します。

※細部の汚れは綿棒などで取り除いてください。

※取り付け時の向きにご注意ください。

●取り付けるときは、向きに注意して元どおりに押し込んで取りつけてください。



クリーンフィルター

●水で洗い流しながらクリーンフィルターを数回振って内部の汚れを落とし、あと、表面の汚れを柔らかいふきんでふき取り、よく乾燥させます。

※クリーンフィルターは水道水に含まれるカルシウムなどのミネラル分を吸着し、水アカや白粉などの付着を軽減する効果があります。

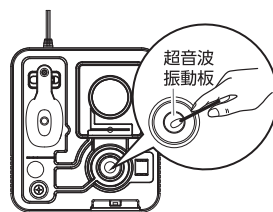
超音波振動板

水洗いはできません。

●超音波振動板で綿棒を使用して取り除きます。

※ミスト部周辺が熱を持つことがありますので、お手入れは少し時間を置いてからおこなってください。

※超音波振動板の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのタワシやみがき粉などで絶対にこすらないでください。



リモコン

水洗いはできません

表面の汚れやほこりを乾いた布で拭き取ります。



●長期間使用しない場合はリモコンから電池を外して保管してください。

電源プラグ

水洗いはできません

ゴミやほこりは定期的乾いた布で拭き取ります。



※清掃後、電源を接続する前に、製品が完全に乾いている事を確認してください。

故障かな?と思ったら

- 修理を依頼される前に、再度取扱説明書をお読みになり次の項目をチェックしてください
改善されないときは販売店へご相談・修理をご依頼ください。



警告

お客様ご自身で修理、改造する事は絶対にしないでください。

■電源プラグは正しく接続されていますか？

→本機およびコンセントとの接続をご確認ください。

念のため、電源プラグを一度抜いて、挿しなおしてから作動するかご確認ください。

■水タンクの水の量が少なくなっていますか？

→水が少なくなった際は水タンクに給水してください。

■水タンクに水を入れすぎてはいませんか？

→水が満水(5L)を超えると、ミストが正常に発生しません。

■運転しない

→電源プラグがコンセントからはずれていませんか。

→水タンクが確実にセットされていますか。

■振動板が汚れていませんか？振動板の上や周りに気泡が付着していませんか？

→水槽部を清掃してください。(「お手入れ方法」はP14～15を参照してください。)

→水温が低い時などは振動板の上や周りに気泡が付着し、ミストの出が悪くなる場合があります。

→コンセントを抜いて、綿棒などで振動板に付着した気泡をやさしく取り除きご使用ください。

■においがする

→水タンクが汚れていたり、水が古くなっていませんか？水タンクをお手入れしてください。

→吸気口または吹出口が汚れている、吸気口または吹出口を掃除してください。

→お手入れをしてもにおいがするときは、お買上げの販売店にご相談ください。

■電源を切った後、湯気が出る。

→電源を切った後、本体底部の残留水が高温のため、吹出口から湯気が出る場合がありますが、異常ではありません。

■市販品の湿度計と加湿器の現在湿度の表示が違う。

→本機に搭載している湿度センサーと市販品の湿度計では、感知方式や構造(アナログ式)などの違いにより異なる場合があります。(湿度表示は目安です。)また、空気の流れが良い場所と悪い場所では湿度表示が異なる場合があります。

■電源プラグが異常に熱くなる。

→コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか？

●コンセントをお調べください。

→タコ足配線や延長コードを使用していませんか？

●延長コードやコンセントの定格以内でご利用ください。

※気温や湿度など、周囲の環境によってミストが見えにくくなる場合があります。ミストが見えにくくても、水タンク内部で正しくミストが発生し送風ファンが作動している(モーター音が聞こえる)場合は故障ではありません。

保証書

■ この度は、弊社商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- 弊社で販売する「保証書」対象商品にて、納品日から下記の保証期間内に取扱説明書に準じた使用で故障等の不具合が生じた場合に、本書の保証書により製品本体に限り部品交換・商品交換・返品の対応をさせていただきます。それ以外の保証（設置工事代金・送料等）は適用外となります。お買い上げ販売店に依頼の上、修理の際に本書をご提示ください。

品名（品番）	超音波+加熱式ハイブリット加湿器(XR-RE01)	お客様	住所 〒
保証期間	ご購入日より1年間		名前
納品年月日	年 月 日		TEL ☎

保証規約

■ 初期不良

- 商品到着後7営業日以内に、届いた商品に不良がないか確認をお願いいたします。万が一の場合は、お買い上げ販売店・修理申出先又は下記の輸入元までご連絡ください。送料は往復とも弊社が負担します。
- 商品到着から8営業日以上経過している場合は初期不良の対応をいたしかねますので、ご了承ください。

■ 無償修理

- 商品納入日から記載の保証期間となります。保証期間内に商品の瑕疵により取扱説明書に準じた使用で故障等の不具合が生じた場合、お買い上げ販売店・修理申出先又は下記の輸入元が無償で修理、部品交換を承ります。送料は往復ともお客様負担となります。
- 修理不可能な場合は、商品のお取替えを致します。生産終了等によりご用意できない場合は、代替品で承ることがあります。

■ 有償修理

- 商品納入日から保証期間を過ぎた場合は有償修理を承ります。送料は往復ともお客様負担となります。お買い上げ販売店又は下記の輸入元へお問い合わせください。

■ 保証対象は本商品及びその付属品となります。オプション品、サービス品は対象外です。

■ 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。

■ 運賃などの諸経費は、原則としてお客様にてご負担願います。お客様宅への出張修理はお断りしておりますので、予めご了承ください。

■ 保証の適用に当たっては、故障や不具合が生じた際の使用状況の伺い、画像の提供などお願いすることがあります。

■ 修理中の代替品のご提供は行いませんので、予めご了承ください。

■ 保証書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

■ 以下のような場合等は保証期間内でも対象外となります。予めご了承ください。

- 商品お届け後の移動・輸送・転倒・落下・接触等による故障及び損傷
- 取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因による故障及び損傷
- 定期的なお手入れの怠りによる故障及び損傷
- 不当な設置場所での使用による故障及び損傷
- 本商品の目的以外での使用、過酷な条件下での使用による故障及び損傷
- 使用上の誤りや、お客様による修理または改造が認められる商品の故障及び損傷
- 一般家庭以外（例えば、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
- 本商品以外の機器に起因する故障及び損傷
- 火災、地震、水害、その他の天災地変、公害や異常電圧など本商品以外の原因による故障及び損傷
- 保証書の提示がない場合、購入日の確認が取れない場合
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合

■ 免責事項

- 取扱説明書の記載誤りなどについては保証の対象外となります。
- 本製品のご使用又は使用外から生じる付随的な損害（記録、再生に要した諸経費及び記録、再生により得られなかった事業の利益損失、データの損失、中断等を含む）に対し、弊社は一切の責任を負えません。
- 保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証書は明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

TAKASYOU 輸入元
株式会社 高昇

<https://takasyou.jp/>

ご不明の場合のご相談は、お買い上げ販売店・修理申出先又は輸入元へお問い合わせください。